

学校運営協議会議事録

校名	大阪府教育センター附属高等学校
(准)校長名	福本 美紀

開催日時	令和7年6月16日(月)15:00~17:00
開催場所	探究図書館(1号棟3階)
出席者(委員)	委員4名
出席者(学校)	校長、教頭、首席(2)、指導教諭 大阪府教育センター(カリキュラム開発部部长、高等学校教育推進室長、 高等学校教育推進室主任指導主事)
協議資料	(1)令和7年度 学校経営計画等について (2)本校における校務改善について、大阪・関西万博について (3)授業研究について (4)国際交流について (5)進路状況について (6)令和8年度 使用教科書選定状況について (7)令和7年度 広報・地域連携について (8)探究について 参考資料 令和7年度学校運営協議会実施要項 / 令和7年度学校行事予定表

議題等(次第順)	<p>学校長挨拶(校長)および会長挨拶(会長)</p> <p>(1)令和7年度 学校経営計画等について(校長)</p> <p>(2)本校における校務改善について、大阪・関西万博について(教頭)</p> <p>(3)授業研究について(首席)</p> <p>(4)国際交流について(首席)</p> <p>(5)進路状況について(首席兼進路指導主事)</p> <p>(6)令和8年度 使用教科書選定状況について(首席)</p> <p>(7)令和7年度 広報・地域連携について(首席)</p> <p>(8)探究について(指導教諭)</p>
----------	---

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<p>(1)令和7年度 学校経営計画等について(校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期的目標2.(3)年度末時点での進路決定率90%以上を維持するに変更した。 ・本年度の取組内容および自己評価における1.(1)評価指標において③に生徒および教職員の人権教育に関する内容を記載。 ・授業研究と探究学習を2本柱とし、大阪府教育センターと一体となった取組を進めていく。 ・学校経営計画中期目標2「確かな学力の育成と授業改善」(1)教育センターと一体となった教育実践の研究について、兼充の教員が9名となり、センターとの連携がより深まっている。 ・働き方改革については「教員の心理的安全性の確保」を重視したい。 ・学校改革の一環として「教センの持ち味深化」PTを立ち上げ、「令和の日本型学校教育」を推進する学校へとバージョンアップする。 <p>(2)本校における校務改善について、大阪・関西万博について(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【校務改善】・各会議等の電子化により効率化を図るとともに個人情報等の紛失リスク等を低下させることができている。 【校務改善】・教室利用の管理や生徒の遅刻および欠席管理、採点業務等の電子化により円滑な校務の運営を実現している。 【校務改善】・電子職員掲示板の活用については投稿者の業務負担も考えて段階的な活用を検討している。 【大阪・関西万博】・第3学年は5月9日に万博を訪問。生徒たちは多くの刺激を受けることができた。 【大阪・関西万博】・第1学年および第2学年は9月22日に訪問予定。第3学年の取組を基盤に、熱中症対策も含めて安全・安心な万博の訪問を実現したい。 <p>(3)授業研究について(首席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は各教科における「探究的な学び」のデザインをテーマに年3回の校内研修を実施。 ・生徒に育むべき資質や能力を発揮できるよう、探究ナビでの実践を各教科にリンクさせ、各教科における「探究的な学び」の授業研究を学び、生徒へのファシリテートやカリキュラムの開発を進める。 ・クローバープラン(キャリア・パスポート)を活用することで「学び続ける力」や「継続して努力をする力」を育みたい。 <p>(4)国際交流について(首席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月20日から7月18日にかけてアメリカから短期留学生を受け入れる。 ・今年度5名の生徒が7月30日から8月8日にかけてオーストラリア・アデレードへ夏期語学研修へ行く。 ・事前研修については大阪経済法科大学と連携して実施する。 ・生徒1名が約1年間エストニアに留学を終え、2学期から帰学予定。 <p>(5)進路状況について(首席兼進路指導主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーターや進路未決定者が増えているため、生徒の自己実現に向けた進路指導を徹底して行っていきたい。 ・多様な進路実現をサポートできるよう、進路指導部からそれぞれに主担当を配置している。 ・3年間を通じてポートフォリオを作成することができるよう、継続的に支援を行う。 ・開かれた進路指導室を実現するために内装等をリニューアルした。 ・様々なインターンシップの機会の保証。 ・学習意欲を高めるための集会・講習も実施していきたい。 <p>(6)令和8年度 使用教科書選定状況について(首席)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月現在は各教科で教科用図書の選定途中である。結果については11月の学校運営協議会にて報告する。 <p>(7)令和7年度 広報・地域連携について(首席)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【広報】・年間3回のオープンスクールに加え、様々な学校外の説明会に参加する。 【広報】・学校説明会は昨年度の形を基本に、これまでよりも生徒自身が学校の魅力の中核となるように運営を行う。 【広報】・今年度より中学校の教員および近隣の学習塾の講師を対象とした説明会を開催。 【地域連携】・地域連携については新型コロナウイルスの蔓延に伴い非常に希薄なものになっていた。 【地域連携】・現在の教員の働き方や生徒および地域を取り巻く状況を鑑みたくえ、新たな繋がりを構築したい。 【地域連携】・四恩学園とはボランティア活動や校庭開放、文化祭での交流を中心に連携する。 【地域連携】・苅田小学校とは文化祭や探究発表会、作品交流を中心に連携する。 <p>(8)探究について(指導教諭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究と授業研究が2本柱であるとしてきたが、探究ナビと各教科の学びをリンクさせることで大きな本校の柱とすることができる。 ・探究ナビで学び方(スタイル)を学び、各教科でコンテンツを学ぶ。それらを有機的に関連することで教科横断を実現することができる。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を進めていく中で、「働く意欲の保証」「地域等とのつながり」等が軽視されてしまうのではないかと。 (学校より)働き方改革は重要である一方、生徒たちのために邁進したい教員の思いも大切にすることが充実した教育につながるため、校務のICT化を活用するなど、教育活動を削減することなく多く効率化を図ることで時間外労働時間の削減を図りたい。また地域とのつながりに関しても、地域および学校(教員・生徒)の双方にとってより良い形を創っていききたい。 ・多様性を認めるために、具体的にどのような取組を行うか。 (学校より)今年度は「ポジティブ行動支援」についての教員研修を行い、まずは教員間で相互の良さを認めていくことが教員の心理的安全性につながると考えている。 ・探究ナビを通して身につけさせたい力を全教科で育むことをめざすことで、学校として新たなフェーズに入ることができる。 ・生徒自身も探究ナビと各教科でめざす先が同じであることを認識することができれば、自然と学習に向かう姿勢に繋がるのではないかと。 ・成績上位者への手立て(集会・講習)について賛成である。一方で上位層以外の生徒に対する手立てをどのように考えているか。教員からの声掛けがとても大切であると思う。 (学校より)分からない部分を気軽に聞くことができたり、周囲の友達と和やかに勉強をするような機会(スタディー・キャンプ:仮称)を設定するなど、学びの集団を作ることで様々な学習到達度の生徒に対して支援していきたい。
--

次回の会議日程	
日時	令和7年11月10日(月)15時30分
会場	探究図書館(1号棟3階)